

授業科目名・形態	助産学概論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	工藤 優子	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

女性の性と生殖をめぐる健康問題に焦点をあてて援助する助産師の専門職としての業務内容、責務、職業倫理、役割および、その基礎となる助産学の基本概念、助産師教育について学ぶ。また、わが国および諸外国の母子保健の動向についても学習する。

【到達目標】

1. 助産の歴史の変遷や業務および母子保健の動向から助産の果たす役割を理解する。
2. 助産師として必要な職業倫理を認識することができる。
3. 助産師としてのアイデンティティを確立し、助産師の将来的展望を考察することができる。

【授業計画・内容】

- 第1回 助産の概念
- 第2回 助産師の定義と業務
- 第3回 母子保健の動向①
- 第4回 母子保健の動向②
- 第5回 助産ケアの理念
- 第6回 助産師と倫理①
- 第7回 助産師と倫理②
- 第8回 助産の歴史の変遷と助産師の将来

【授業実施方法】

主に講義。グループワークと発表

【授業準備】

授業ごとに十分に予習・復習をして講義にのぞんでください。

【主な関連する科目】

「助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」「助産管理論」

【教科書等】

我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座1、基礎助産学[1]助産学概論、医学書院

【参考文献】

授業で紹介します

【成績評価方法】

筆記試験 70%、グループワーク・発表・その後のレポート 30%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

特定機能病院において助産師として勤務しハイリスクの妊産褥婦、新生児のケアを行っていた。臨床での根拠のある看護実践の大切さを伝えたいと思う。

【学生へのメッセージ】

「助産師国家試験受験科目受講」の必修科目です。
助産学の基礎となる科目であり、歴史や現在の問題など自ら調べ、理解を深めましょう。